

豊橋市老連だより

吉田春秋



市花：つつじ

第50号

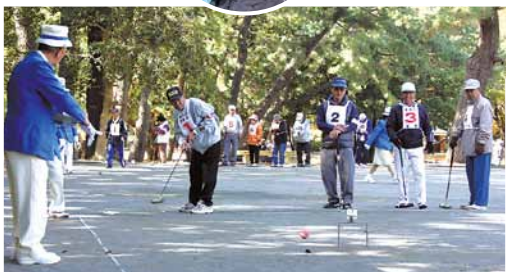
■発行／豊橋市老人クラブ連合会 ■編集・印刷 (株)博報社／名古屋市北区稚児宮通1-56 ☎0120-0212-09



11月14日、高師緑地において「第22回豊橋市シルバースポーツ中央大会」が開催されました。
ゲートボールに17チーム、ペタンクに22チーム、グラウンド・ゴルフには26チームが出場。3つの種目に分かれて、約400名の選手たちは寒さをもとめせず熱戦を繰り広げました。
(2面にも記事を掲載)



第22回 豊橋市シルバースポーツ中央大会



ブロック
総合優勝

大清水ブロック



ブロック
総合準優勝

石巻ブロック



種目別結果

ゲートボール

優勝	高山校区
準優勝	高豊校区
第3位	小沢校区
優勝	老津校区
準優勝	芦原校区
第3位	下地校区
優勝	幸校区
準優勝	二川南校区
第3位	牟呂・汐田校区

ペタンク

グラウンド・ゴルフ

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

新年のご挨拶

豊橋市老人クラブ連合会
会長代行 藤城 敏

新年明けましておめでと
うございます。

会員の皆様におかれまし
ては、ご健勝にて新しい年
を迎えられたことと拝察申
し上げます。

日ごろは豊橋市老人クラ
ブ連合会の事業にご理解と
ご協力をいただきまして有
り難く厚く御礼申し上げま
す。

さて、豊橋市老人クラブ
連合会は昭和 38 年 4 月に創

立し、本年度節目の 50 周年
を迎えることになりました。

これもひとえに、これまで
歴史を築いてこられました
先達各位のご尽力や、会員
の皆様方の絶大なるご支援
のおかげと心から感謝申し
上げます。

また、旧年 7 月に富安会
長の急逝を受けまして動揺
致しましたが、何とか 70 %
ぐらいの計画を実行するこ
とができました。あと年度

末に向かつて残り 30 % を着
実に実行する所存でござい
ますので尚一層のご協力の
程をお願い申し上げます。

今年度末は役員任期（2
年）満了による改選期にな
ります。もう既に各クラブ
におかれましては留任、新
任等により新年度の役員を
お決めになつていらっしゃる
存じますが、現在豊橋市老
人クラブ連合会では会長不
在でございますので、自薦、
他薦を問わず理事の方の立
候補を期待する次第でござ
います。

ここ数年、年度最重点目
標として参りました『組織
の点検、強化、拡大を進め

よう』も自治会等に働きか
けを重点に、金田副会長を
中心に努力した結果が少し
ずつ実を結んではいまし
が、いまだ減少に歯止めが

かからず、この問題から抜
け出すことはできません。
単位クラブでは、やはり 1
人、1 人への入会の声かけ
が基本ですが、参加率の高
い行事を実行しているかど
うかが入会の重要な要素で
はないでしょうか。みんな
が集まってわいわいがやが
やとやれる、会の運営が必
要だと思います。

人生 50 年時代から、今や
人生 80 年時代になり、老人
クラブの管轄も 60 歳から

第 44 回 高齢者趣味の作品展

8 月 29 日（水）～ 8 月 31 日（金）
の 3 日間にわたり、豊橋市
民文化会館展示室におい
て、第 44 回高齢者趣味の作
品展が開催されました。

絵画、ちぎり絵、木版画、
ぬり絵、絵手紙、写真、書道、
水墨画、南画、手工芸、華

道等 242 点が出品され、
前年度より 70 点の減少でし
た。ここ数年、出品点数は
徐々に増加していたところ
であり、本年度の減少の原
因は不明です。

ただし、作品それぞれの
出来栄は例年を上回る素
晴らしいものであったと



言っても過言ではありません。
ん。

一方、3 日間の入場者数
は 757 名であり、前年度
より 80 名近い増加でした。
2 日目の入場者が特別多
かったことから高齢者趣味
の演芸大会の同日開催の効
果が例年以上に大きかった
ように思えます。

(広報文化部長

日野 義久)

第 22 回 豊橋市シルバースポーツ中央大会
大学生が、振り込め詐欺の被害に
遭わないよう、参加者に注意を呼びかける

会場では、豊橋創造大
学の学生さんと豊橋信用
金庫の合同チームが、参
加者に振り込め詐欺への
注意を呼びかけるチラシ
を配布しました。

あらかじめ家族内で合
言葉を決めておき、不審
な電話がかかってきた際
にはその合言葉を投げか
けることができるよう
に、合言葉を書き込んで
電話の近くに貼っておく
ことができるシールも一
緒に手渡されました。



100 歳まで、40 年の幅を
受け持ち、多様な思考で運
営することが求められてい
ると思います。健康長寿に
必要なことは、栄養、運動、
休息が、生活の中で無理な
く自然にできていることだ
と言われています。老人ク
ラブで手助けできるのは運
動だと思いますが、還暦ク
ラス、古希クラス、米寿ク
ラスと多様な層を満足させ
る、きめ細かい事業が求め
られている時代ではないで
しょうか。新年放談で終わ
りますが、今後とも老人ク
ラブ活動にご協力の程お願
い申し上げます。

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

第35回 高齢者趣味の演芸大会

第35回高齢者趣味の演芸大会が8月30日、豊橋市民文化会館で開催されました。

早朝より多数の方に会場前に並んでいただきました。主催者としては喜ばしいことですが、開場と同時に走って入場し事故等がないか心配しました。けれども、係員の配慮により整然と入場できました。

のあいさつを終え、出演者がそれぞれ精いっぱい熱演が、会場も少しずつ盛り上がってきました。今回は50組、633名の出演でした。歌謡教室は、素晴らしい歌唱力で会場を沸かせました。午前の部が12時前に終了し、食事休憩時には観客が高齢者趣味の作品展を鑑賞したり、チャリティーバザーで買い物をしたりして時間を過ごし、13時より午

後の部が始まりました。舞踊・民謡共に衣装も素晴らしい、きれいに踊り、歌っていました。健康体操もリズムに乗って軽快に体を動かしていました。また、ダンスも2人の息がぴったり合い素晴らしい動きでした。そして、大正琴も十分に練習している成果が出ていました。開催当日も休憩時間に演題を熱心に繰り返し練習している姿をかいま見て、日頃から努力をされているのだなあと感じました。各部門共それぞれ一生

懸命に熱演し、観客からたくさん拍手をいただけていました。

大会も15時前に無事に終了し、関係各位の協力に感謝いたします。次年度も演芸大会を開催いたしますの

で多数の皆様の参加を期待しています。演芸大会の1日を楽しく過ごさせていただきありがとうございます。

(生きがい事業推進部長
藤村 増男)

第21回 女性部チャリティーバザー

豊橋市女性部チャリティーバザーが今年も8月29日より3日間、豊橋市民文化会館において行われました。

開催中、事故もなく天気にも恵まれ、3日間無事に終了いたしました。皆様のご協力に感謝しお礼申し上げます。

(女性部長 藤村 和子)

開催前日には理事・女性部全員が暑期中、収集品の値付けや袋詰め、陳列等の作業をし、当日を迎えました。当日には早朝より行列ができ、大変嬉しく思いました。また、ご近所さん同士でウォーキングがてらに会場された方も多くいらっしゃったのでとても良いことだと思いました。

女性部理事さん方も声かけ・笑顔・対面会話で品物の相談をしながら、売り上げに協力してくださいました。

バザーを通して、人は常に夢を持ち、笑顔を絶やさず、豊かな心で生き、そして、女性として気配り、目配り、声かけ、好奇心を活かし、心配りをしながら生きるこの大切さを改めて実感しました。



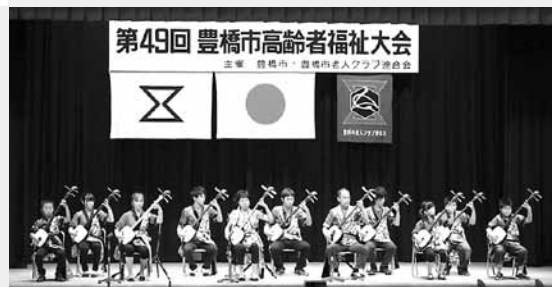
私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

第49回 豊橋市高齢者福祉大会

8月29日(水)市内公会堂にて、第49回豊橋市高齢者福祉大会が開催されました。式典には約400名を超える方々が参加され、ダイヤモンド婚・金婚を迎えられたご夫婦のうち各1組が代表として登壇し、佐原市長から祝詞が贈呈されました。

また、長年市内施設にてボランティアとして手芸を指導してくださる住田律子さんと、童謡唱歌など音楽による慰安訪問をしてくださった愛唱会の皆さんに市長感謝状が贈呈されました。

式典ではその他に、津軽三味線雅會によるアトラクションが行われ、「東京ブリウギ」など懐かしい曲が披露されると会場の皆さんも思わず口ずさむなど大変な盛り上がりとなりました。
(事務局)



〈アトラクション〉
津軽三味線 雅會



〈市長感謝状〉
愛唱会



〈市長感謝状〉
住田律子さん



〈金婚〉
代表：藤村ご夫妻



〈ダイヤモンド婚〉
代表：前田ご夫妻

第14回 高齢者ペタンク大会

◎日時／9月27日 ◎場所／豊橋市陸上競技場 〈参加チーム：63 チーム〉

優勝	細谷 B
準優勝	細谷 E
第3位	花田 G
第4位	花田 D
第5位	大清水
第6位	小沢 A
第7位	老津 B
第8位	牛川 D



第31回 愛知県老人クラブゲートボール大会

◎日時／9月20日 ◎場所／大野極楽寺公園(一宮市)
豊橋市からは花田チームと高山チームが出場しました。



第40回 愛知県老人スポーツ大会

◎日時／10月6日 ◎場所／あいち健康の森公園(大府市)
豊橋市からは牟呂・高師・大清水ブロックから30名が出場しました。

第8回 愛知県老人クラブグラウンド・ゴルフ大会

◎日時／10月6日 ◎場所／あいち健康の森公園(大府市)
豊橋市からは花田チームが出場しました。

スポーツニュース

第36回 高齢者ゲートボール大会

◎日時／10月11日 ◎場所／豊橋市陸上競技場



第14回 高齢者グラウンド・ゴルフ大会

◎日時／11月1日 ◎場所／豊橋球場

◎総合優勝…熊谷 邦雄(多米) 〈参加人数：約600名〉

優勝	Aブロック	金野 文男	幸	Bブロック	熊谷 邦雄	多米
準優勝	加藤 茂雄	玉川		石原 宗光	牛川	
第3位	藤崎 邦雄	岩田		三浦 勅勇	高師	



◎総合優勝…菰田とよ子(吉田方)

優勝	Aブロック	鈴木三代子	花田	Bブロック	菰田とよ子	吉田方
準優勝	犬塚 愛子	牛川		浦川 みと	高豊	
第3位	伊藤富士子	幸		田中きよ子	高豊	



私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

校区・単位クラブ活動

芦原校区

地元の歴史を学びつつ
初夏の梅田川沿いを歩く

芦原校区老人クラブ連合会

伊藤 公満

6月7日(木)「芦老連みんなてウォーキング・パート3」を会員42名の参加で行いました。

こここのところ暑い日が続

く中、この日は幸いにも曇り空。また風もあり、心配した熱中症の気象条件も減り、歩きやすく絶好のウォーキング日和となりました。

お茶と糖分補給用のお菓子が全員に配られ、地元芦原校区健康推進委員会が前

年度、会発足記念に作成したマップを片手に校区市民館を9時出発。まずは休憩地の本郷地区市民館を目指しました。

途中、地元の歴史の説明をしながら、またおしゃべりをしながら楽しく歩きま

した。この地は昔、江戸時代頃まで高足村と呼ばれた時代がありました。高足湊跡、ほか旧高足村の歴史探訪を主体に、初夏の梅田川とその周辺の田園を歩きま

した。

各単位クラブの会長

5名がそれぞれの役割を分担。トイレ休憩

の地区市民館までたど

り着き、玄関前で原田館長さんに記念写真の

シャッターを押しても

くといふ。大勢で歩

くといふ。大勢で歩

くといふ。大勢で歩

くといふ。大勢で歩

くといふ。大勢で歩

多米校区

昔遊びの会

第三和来会 小村とみ子

10月30日、豊橋市民俗資料収蔵室(古多米)にて1年生120名、老人クラブ

20名で3世代交流が行われました。子どもたちは元気よくあいさつができました。

各教室で、だるま落とし・あやとり・おて玉・めんこを、広場では竹とんぼ・竹馬・けん玉・羽根つきをしました。1つの遊びに2人ぐらいて教えまし

参加されました。あちらこちらで大声を出したり、飛び跳ねたり、笑顔で練習して

いました。私たちも最初は戸惑いもありましたが徐々に慣れ、そ

して、頑張っ

て、頑張っ

て、頑張っ

て、頑張っ

て、頑張っ

て、頑張っ



たり「痛い、痛い」と叫びながら練習をしているうちに上手になり、お互いに拍手して喜びました。ブラジ

ル人のお父さんも参加して

おり、最初から最後まで夢

中でけん玉を練習していま

した。その結果、10回くら

いできるようになり、笑顔

次は軽めの計画にしたいと思います。元気なうちに良い思い出をもっとつくりたいものです。



東田校区

歩け歩け東田(パート4)

親和会 森下 佐六

11月24日、その日は北風もおさまり、太陽の光が水神池の川面に反射して、きらきらと輝いていた。集合するのには便利であり、ウォーキングコースとしても自然環境が美しく、遊歩道等も整備されて安全面が高いとの理由で、今回は運動公園周辺をAコース、水神池周辺をBコースとして、10時に運動公園休憩所前に集合し、稲熊会長の号令により準備体操をした後に出発した。

「運動公園前」の市道を南に向かって歩き、最初の信号を左折すると、左側にシイ、カシ、ケヤキ等の巨木の樹林帯が続いている。

また、カエデ、ウルシ等が所々で紅葉していた。

樹林帯が終わると、野球場の外野スタンドが見える。野球場からは、応援の歓声が聞こえてくる。間もなく

交差点に達した。私たちは、それを左折して進んだ。イチヨウ、ケヤキ等の落葉を踏みながら進むと、落後しかかった人を励ましているのだろうか、頑



張つてゝとの声が聞こえる。神明宮が見える。拝殿の裏山には立派なヒノキ林が空に向かつて伸びていた。神明宮を過ぎてから、私たちは公園内の遊歩道に入り、水神池を目指して歩いた。水神池周辺にはBコースを選び、ウォーキング中の人たちがいた。やつと一緒になったのん、交わす言葉も懐かしく思えた。歩け、後一步で到着だ。

ウォーキングも回を重ねるごとに参加者が多くなり今回は90名になりました。市会議員の先生や、92歳の高齢者も参加しました。ウォーキングがさらに充実することを願っています。

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

校区・単位クラブ活動

花田校区

高齢者自転車安全教室

稲場ダイヤモンドクラブ

仲井 昭次

愛知県の交通死亡事故の特徴を見てみると、高齢者が５割以上を占め、歩行者、自転車の交通弱者の事故が目立っています。

そこで、花田校区老人クラブ連合会は、豊橋警察署のご協力をいただき、

7月25日、花田小学校の運動場にて「高齢者自転車教室」を開きました。参加者52名は、運動場に標識やＴ字路などの特設コースを作り、豊橋署員から自転車の発進、一時停止での後方確認などの説明を受け、実際に自転車で走行しました。

当日は30度を超す暑さの中、流れる汗を拭きながら真剣に取り組み、参加した会員は「自転車は毎日乗るが、交通ルールはあまり気にせず乗っていた。今後は今日の体験を忘れずに活かしたい」と意義ある１日だったことを話していました。

これを機に、年１度このような「交通安全教室」を開きたいと思っています。



花田校区

牟呂用水沿い歩道の清掃活動

花二会 河口 忠男

6月の梅雨期には、草や木の枝が伸び、緑が濃くなつてうっとうしいほどでした。町内の東側を流れる「牟呂用水沿い」の街路樹や歩道の雑草も伸び放題に茂り、その根元にはベトボトルの空きビンや犬のフンなどが散らばって、汚い、乱雑な歩道でした。

7月の役員会でこうした状況が話題になり「みんなて歩道をきれいにしよう」との声が上がりました。

市みどりの協会の点検と支援があつて、牟呂用水花



30分程度の清掃活動が決まりました。一番町のシルバークラブにも声を掛け、花二会と協力して実施することになりました。

8月末の日曜日、朝8時から作業開始です。草刈り機で除草する人、伸びた枝を剪定する人、竹箒で掃除する人、ゴミを集めて袋に入れる人など。汗を流しての作業は大変でしたが、手際よく作業が進み、ゴミ袋に20個余りを運び出しました。

9月はじめには、市の委託業者が街路樹をきれいに刈り取ってくださり、以後の作業がとても楽になりました。

こうした作業で歩道は見



違えるほどきれいになり、朝夕のウォーキングを楽しむ人、犬を連れて散歩する人など利用者の数も増えてきました。これからも地域のみなさん、この活動を続けていきたいと思います。

岩田校区

元気なお姉さん

仲間のおてほん

北岩田一区老人クラブふたば会

杉浦 久子

ふたば会（発足6年）は、井原と赤岩口、2つの電停近くに暮らしている人たちから成ります。趣味の会として絵手紙、カラオケ、グラウンド・ゴルフ、銭太鼓があり、各部で活動しています。

グラウンド・ゴルフ部は、東光公園で週2回火曜と木曜に集まり、始める前に花壇の管理（当番制）、公園内の落葉・紙くず拾い、草

取り等を行います。誰も当たり前のように行動し、その後、さあゴルフの準備。4ホールのミニコースを2班に分かれて、よろしくのあいさつでプレーボールです。メンバーは88歳～71歳（平均年齢76歳）です。

最高齢の夏目多喜子さんは、おしとやかで礼儀正しい方ですが、打ったボールに向かって跳ねるような軽やかさでマーカーを置いたりボールを取ったり、ホールインワン目指して頑張つてみえます。寒さ暑さも忘れて動ける足腰の強さ、打数も計算し、仲間で行うス



ポーツなので気配りもされ、私たちのおてほんです。夏目さんに元気の秘訣はと尋ねると「外へ出て自分を開放、体が動くうちにいろいろなことに挑戦、多くの人たちと接することで元気をもらったり、少しでも元気をあげることができれば」と言ってみえます。皆、夏目さんのようにがんばるよー

校区・単位クラブ活動

岩田校区

半期を振り返って

中岩田長寿会 石川 房代

中岩田長寿会の定例会は「ボケない小唄」で始まります。今年度の活動も健康づくりを柱とし、健康体操を実習し、日常生活の中で



健康づくりに役立つように指導していただいております。

また、前年に引き続き、今回もコミュニティバスを

利用してのウォーキングは動植物公園へ行つて仔象の「マール」を見ってきました。天候に恵まれ、適当な歩行量で、大変楽しい1日となりました。

秋は飯田線を利用して、県民の森へ行きました。また、新たな取り組みとして「コミュニティ・カフェ」を月1度ですが開催することとしました。女性たちはなごやかにおしゃべりに花を咲かせ、男性は囲碁教室をしながらコーヒーを楽しんでいます。

こうした発想は、校区内外のクラブと活動の情報交換をするように心がけ、感動したり反省したりの中から生まれました。新たな活動に取り組むには、会員の皆さんの意見を大切にし、

飯村校区

公園の掃除

東山シルバークラブ 原 芳夫

皆様お元気ですか。11月の声を聞いてさすがに寒くなりました。今日は、クラブの活動報告をいたします。

東山町内4公園の清掃を、2カ月に1回、初旬の土曜日に8時から終わるまでやっております。今回は植込みの剪定をしてくれる仲

間がいて、とてもつきりしました。町内の公園が、子どもの遊び声で溢れている光景を想像するとか嬉しくなります。

我々の年代は、遊ばせる公園など近くにはありませんでした。愚痴を言っているのではありませんよ。地域の子どもの成長を願っているだけです。何と



いっても主役は子どもたちです。写真は平成24年11月10日(出)、寒い朝、21名の清掃活動風景です。

野依校区

マールに会いたくウォーキング

楽友会 星川 よしえ

意見の言える雰囲気大切だと思っています。

本会には文化サークル(絵手紙・手芸)があります。作品作りを楽しみながらの会話の中から「目標とか夢がないと長続きしない」との会員からの提案で、いささかでも社会貢献になればと近隣のケアハウスを訪問

して作品を展示したり、本の朗読をしたりして利用者さんからも喜ばれ、それがメンバーの励みにもなっています。自分たちの活動が自他の幸せにつながるよう、今後ともより良い活動が続けていきたいものです。

楽友会23名と動植物公園のうわさの仔象のマールを一目見たくてウォーキングに参加させていただきました。マールは一昨年の10月の新聞の写真しか拝見していませんので、果たして親象から想像して、ゴツイものとばかり思っておりまして。

しかし、見学の幼児の群

集に混じって拝見したのですが、飼育員との所作では、人間の幼児が親を慕うそのもので、鼻の先で飼育員の全身を柔らかく触っている様子は、本当に親子の愛情の原点だと感じました。

誕生当時は90キロでしたが、9月17日の誕生日には474キロに成長し、1日17リットルのミルクを飲むなど食欲旺盛です。育っているようで、一安

しているとのこと。人間とは比較にはなりませんが、表現はそれなりにかわいらしく、三河・遠州周辺の愛好家にはもてはやされていることでしょう。まだ芸ができるわけでもありませんので、観光客は順に代わっていき、混雑するとい

うほどでもありませんでした。

動植物公園は広大で、緑の木立が並び整然として、道路も広く適当な緩やかな坂もあり、要所には園内の地図(現在地入り)や案内掲示板が設置されており感心いたしました。

平日でありましたため案に行動がとれ、携帯電話を活用しましたので予定時間に帰宅することができ、ありがとございました。

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています



蕎麦に挑む

牛川校区 北町友和会
高原 真市

昨年の夏は例年になく残暑が厳しく、9月に入っても真夏日の連続。猛暑の炎天下、鍬やスコップを手に11人の元若者が大地を耕し

ている。全員汗まみれだ。休憩を取ったの2時間半、慣れない作業に全員疲労困憊、歳には勝てないを痛感する。「今日の作業は終了!!」の声に「ホッ」とする。先が思いやられる1日だった。

知り合いの蕎麦屋の親方に蕎麦打ちを教えてほしいとお願いしてあり、この度実現の運びとなったが、親方の「どうせやるなら蕎麦の実も作ったら」の一言で休耕畑を借り大地を耕す羽目になる。知人友人に声を掛け仲間を募る。第1期生11人で旗上げ、この内の4人が家庭菜園の経験者、残り7人は未経験者。蕎麦の栽培に関しては全員が素人である。



急ぎよ決まったので半月近く播種時期が遅れている。上手く蕎麦の実が収穫できるか心配だ。何年も耕作していない荒地千平方メートルの草刈りから始める。耕耘→消石灰散布→畝作り→播種までの行程で一段落する。遅れているので耕作予定を1週間で組む。我々高齢者には強行軍だ。

「麺 men」クラブが誕生

何を作ろうとしているのかナ……？



始めはこんなだった

角さん頑張っ……

朝6時からの作業も

みんな畑に出て来て……

畝ができたヨ……

みんな慣れた手つきで……

種まきだよ

文化会館の

ステージで踊りました

杉山校区
泉向山明日望会
高井 貨予

寿会として初めてシニアフェスティバル演芸大会の舞踊の部に出演させていただきました。感動覚めやらぬ心のうちを書きます。

はじめに、私たちの出場に際し、長寿介護課と杉山老人クラブの皆さんには大変お世話になりました。心から御礼申し上げます。

さて、寿会は7年前、杉山小学校体育館でてまり会の大先生のご指導で盆踊りの練習中、「こんなに踊りに飢えている女性がいるのだから杉山で日本舞踊の教室を開いたら」というアドバイスが現在も講師をしている市川さんにあつて、この一言が中年女に火をつけました。以来、2、3人の出入りがありますが10人余

畝作り、播種方法はさまざまなやり方があり、話し合いの結果試験的に畝幅を広く取って主に二条播とし一部三条播と撒播で行うことにした。天候にも恵まれ、全員のガンバリで予定通り播種終了。

2日後、種まき終了と豊

作を願って、蕎麦屋で昼食会。ノンアルコールのビールで乾杯。会の名称を「麺 men クラブ」と定め、辛味大根と葱を植えることに決まる。そして今後の活動に夢と希望を乗せて語り合った。次はいよいよ蕎麦打ち体験だ。

りの女性が毎週火曜日の朝、杉山地区市民館の大広間に集まり民舞形式でお稽古に励んでいます。会員の仲間意識は強く、食事会・茶話会とすぐに盛りあがります。

そしてこの初夏「てまり会」の総覧を見て自分たちも大勢の観客の視線を浴びたいというスタイズムに興奮して、文化会館の舞台に出させてもらおうとなりました。

当日、実際に出演を待つ間、てまり会の先輩から励ましの声もあつて逆に緊張しました。演技の最中に校区のカラオケ仲間と目線が合つてドギマギしたり。

「京都純情」を舞い終えて会場の拍手が心地よく聞こえてきました。お草履をしっかりと履いて自席に戻り、大きく深呼吸してしまいました。

すぐ敬老会で踊ります。大清水ブロック演芸大会でも踊ります。たのしんでい

会員随想

我人生

八町校区 旭第一寿会
中村 恒道

人生は山あり谷ありの険しい道であります。若い頃は一生懸命働かなければいけません。横着をしてはいけません。私もそうして頑張ってきました。そうすれば必ず良いことがあります。一步一步前に向かって進んでいくのです。何か1つ趣味も持つて明るく楽しく歩んでい

知覧の桜

栄校区 小松町長寿会
伊藤 信平

私は従軍記者高木俊朗著「特攻基地 知覧」を読んできて、いつか知覧へ行ってみたいと思っていた。そしてそれが実現したのは1999年頃であった。

著者高木氏によれば、特

攻機が出発する時には、飛行場の将兵や町の人々が人垣を作り日の丸の旗をふつて見送った。特攻機の操縦席の中には、知覧高等女学校奉仕隊女生徒の手により満開の桜の枝が入れてあつた。生徒たちも残りの枝を手に特攻機に高く激しくふつて見送った。どの少女も涙の流れるにまかせていた。

たら幸せです。皆さんもそうしてください。

私も5月に医療センターで股関節の手術をしましたが。経過は痛みも取れてとても良好です。これからの人生は人に迷惑をかけずに頑張っていきたいです。希望の人生は健康で幸せで楽しく長生きすることです。昔の人は我人生に悔いはないと言いますが、私も今はそう思う今日この頃です。ありがとうございます。

特攻機が飛び去り、見送りの人影も散って行ったが、高木氏は立ち去りがたい思いでしばらく一人、特攻機が消えて行った開聞岳の方を見つめていた。その時、目のさきを白いものがちらりと流れた。桜の花びらであった。付近に桜の木はない。特攻機の操縦席にあったのが吹き流されてきたのだ。

ある学徒出身の隊員は思いつめていたように高木氏にこう言った。「この戦争は負けですよ。しかし、われわれは命令だから死にます」と。

書・知覧は、悲痛な話の数々で埋められていた。戦争を知らない政治家が再び舵取りを誤らないよう願うこと切である。拙句1つ。散ることを教えた罪を負う桜

昔日に思う

牟呂・汐田校区 大西長寿会
石黒 俊壽

私は戦後生まれの、今でいう団塊世代の1人です。生を受けて思うことの中に以下のようなことがあります。それは生活および仕事のなかでの機器類の変化(進化)です。

例えばテレビですが、ブラウン管型白黒から画面前面に拡大パネルや3原色パネルを設置して見たりもしました。その後カラー画面になり、テレビ本体の薄型化大型化の時代になりました。なお、テレビの始まり

の頃は設置した家(商店等)へ近隣の方が視聴しにいきました(現天皇陛下下の成婚式が印象にあります)。

そして、冷蔵庫は本体(木製品)の内へ氷(1辺20センチ角位の氷塊)を入れて冷やした製品から、電気冷蔵庫になり当初の機能からするとさまざまな機能を備えた製品や容量の種類が豊富になり、どれにするか迷うほどです。

また、電話は各家庭に普及する以前は近隣の設置してある家(商店や個人)へ借りに行ったり、外部の方よりの電話には取り次ぎをしていただけのようなこと

もありました。そして公衆電話(当初はピンク色)の普及および各戸への設置により、以前のような近隣の方への依頼もなくなりました。その後は移動型の電話になり、さまざまな機種の変遷にはついていけない

ほどです。以上の記述は皆さんが使っている一部です。その時々年代により関わった時から始まりで、それ以前の機能は知らなくて進んでいきます。その良否は、使い始めた人が判断することだと思えます。でも一度立ち止まって考える時があるのでは？

老人のひとり言

玉川校区
森岡町老人クラブ森遊会
牧野 昭三

老人会の集まりでも、昭和20年の太平洋戦争の記憶がはつきりしている人は少ない。昭和20年生まれの人

は今67歳、80歳近い人でないと無理かなと思う。戦争を体験していない人々が今国政の中枢を担っており私は心配している。中国との島の領有権の問題もお互いの国の英知で平和に解決してもらいたい。

昭和と平成のエネルギー問題は

高師校区 浜道長生会
宮崎 祥

昭和は、もう昔の時代となりにつけり。

昨年、ついに80歳の大台に達した者の青少年期は、皆等しく苛烈な戦時下にあった。

拡大一途の戦線は、ついに欧米列強の経済制裁を受ける羽目になった。鉄や石油等は輸入できなくなる。政府は「ガソリン一滴は、血の一滴」と、物流を規制した。

ガソリンがなければ、車は動かない。窮余の策は木炭自動車であった。当時の車は、坂道をやっと喘ぎな

私は終戦時16歳だった。空襲で家を焼かれ家族バラバラで逃げ惑い夜明けを待った。悲しい思い出だ。

兄は戦死し、戦後還された遺骨の入った箱を胸に私は家に帰り、中身は戦死場所の石ころ1つ、親父はうつむいたまましばらく顔を上げなかった。その後、私は67年もの間、平和な国日本で暮らしてきたことに感謝している。

私は最近ふと、身近をふり返してみると、子どもたちは戦争のテレビゲームを遊び感覚で楽しんでいる。

また大人たちは日本は自衛隊がいるから戦争になっても大丈夫と語っている。果たしてそうであろうか。

テレビのニュースで外国のことだが、国内で殺し合っている悲惨な場面を日本に置きかえて想像してみてください。これが戦争です。

われわれ戦争体験者は次世代の若い人たちに、もっと強く平和を訴えなくてはいけない責務を負っていると思う。平和と戦争についての話し合いの場をつくるうではありませんか。

がら走った。その燃料である薪炭の運搬は、私たち青少年の勤労奉仕であった。まだ幼さのある私たちの肩を痛めつけた。

今でも高師緑地公園の老松が生き証人である。幹の根元付近に切り裂かれた古傷が見られるが、これが戦時下松根油を採った古傷である。

あの時代から60年余り過ぎ、一昨年3月、未曾有の大災害が発生した。東電の原子力発電所の爆発大事故である。

一昨年6月、老人クラブ連合会理事研修会で、関電の読書発電所を見学することができた。そこで、木曽川水系全発電所32力所、総発電所出力は約100万キ

ノーマア広島

飯村校区 第二飯寿会
西川 文子

戦争跡をたどる知覧、長崎、広島の旅では広島が特に印象深かったです。延々と続く世界各国から寄せられた平和のモニュメント。平和記念館に展示された痛ましい写真の数々に衝撃を受けました。広島原爆は長崎よりも規模が大きく、市内は壊滅でしたが復興を遂げ近代的に生まれ変わった街に、焼けたたれた骨組みだけの原爆ドームが残され「ノーマア広島」を強く訴え続けています。

3年程前、私は飯村小学校の5、6年生に戦争当時を語る機会をいただき、体験したことを思い出しながら、次のような話をいたしました。

国や家族のために男たちは戦下へ。私たち女は「銃後の守り」を。幼い子どもたちと「ぜいたくは敵」を合言葉に苦しい生活でし

た。空襲の後に決まって降る灰の雨で米は不作、配給の食料はほんの一握りほど。タンスの着物さえ次々と脱いで米や野菜に換える

「竹の子生活」です。餓死する人さえありました。話のあとの質問では「戦争を



私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

'12・5 紀行
京ヶ倉、霧訪山
玉川校区 東森岡悠友会
河合 功恭

ヒカゲツツシの京ヶ倉
980メートルとオキナグ
サの霧訪山1305メー
ルに向かう。

長野県生坂村の登山口に
午前10時過ぎに着いた。我
等2人だけの登山で静か
であったが時々雷鳴が心静か



京ヶ倉



京ヶ倉のヒカゲツツジ



霧訪山山頂



霧訪山のオキナグサ

にしない。赤松林とブツ
シュの新緑とのコントラ
ストが美しい登りが続く。中
間点の展望台から見える犀
川の馬蹄形の流れが、2年
前に見たアメリカグランド
キャニオン、ホースシュー
ベンドの日本版のようでY
さんと思ひ出話が弾む。以
後は急登で、木々の間に頂
上と左右の崖に目当てのヒ
カゲツツシの群落が見え出
す。淡い黄色でまさしく日

陰が似合う花である。稜線
は瘦尾根で強風と雷鳴が緊
張感を高めるが難なく頂上
に。白馬連山と安曇野が眺
められる所であったが雷鳴
と雨が多くなり一気に下
る。麓の康申塚に参って
キャンプ場へ向かう。

2日目、塩尻市の霧訪山
へ。麓の山の神自然園に、
満開の山吹と野鳥の鳴き声
に迎えられた。登山口から
急登であったがかわい

いス
ミレが疲れを感じさ
せない。主稜線へ一
気に登って頂上に立
つが目当てのオキナ
グサにいまだ出会え
ず休憩も忘れて探
す。あった！祠裏
にひっそりと白毛に
覆われ暗赤紫色の花
は俯き加減に咲いて
いた。今後再会でき
るか？ 一期一会の
花と思うといとおし
く感じ、去り難いが
次の大芝山に向かう
縦走路に入るとカタ
クリ、ニリンソウの
大群落、さらにヒト
リシズカ、ワチガイ
ソウと予想外の野草
に出会い興奮する。
小ピークの登りで黒
い動物にも出会って
早々に下山する。2
日間の行程で充実し
た山行であった。

趣味

富士見校区
ニューレイク連合会
木村すみ子

私は今、大正琴、グラウ
ンド・ゴルフ、カラオケ
とそれぞれを楽しみなが
ら日々を送っている。大正
琴においては、あの小さな
ピックと5本の弦で奏でる
美しい音色を楽しみながら
仲間と心を一つにして作り
上げていくアンサンブル。
最初はバラバラでも、練習
を重ねていくうちに一つの
音になって聞こえるように
なる。この感動は何とも言
い難い。こうして曲の一つ

一つを作り上げて、発表会
へと進めていく。いざ舞
台に立つと、練習の時とは
まったく違ったものになる
時もある。この繰り返し。
でもこうして続けてきたか
いあって、今では大切な余
生の道づれとなっている。
そして、グラウンド・ゴ
ルフ。これまた本当に楽し
み。練習日が雨だとがっ
かりする。朝から走ったり
笑ったり、一喜一憂しなが
らこの爽快感は何物にも変
えられない。どうしてこれ
だけ夢中になれるのか、楽
しめるのか、考えても思
議。きつといい仲間がいる
からだと思う。いつもうま

くいかなくても、たまに高
得点が出ることもある。こ
の瞬間を追いかけながら
つも夢中。
趣味を持つことは脳の活
性化のために非常に大切で
あるということを書きと書
いてある1冊の本「脳内革
命」を思い出す。ずいぶん
昔に読んだ記憶があるが、
東洋医学と西洋医学を融合
した治療にあたっておられ
る先生が書きになった本
だった。この先生の言葉
を信じて趣味を楽しみなが
ら、健康づくり、仲間づく
り、そして心豊かに年を重ね
ていきたいものだ。

市老連の
進展を願って

―最近の吉田春秋に
想うこと

新川校区 舟原町喜楽会
小川 幸男

1、市老連総会と吉田春秋
改めて吉田春秋に眼を通
して想ったこと。

会長のあいさつを始め事
業計画など練り上げた事項
が網羅されていました。前
年度の反省に立った記事
がみあたりません。

総会に出席して議長（司
会者）の発言が、「質問は
ありませんか。」だけで意
見を促すことをしませんで

した。年に一度多くの会員
が参集している総会を有意
義なものにしたいもので
す。

2、吉田春秋の記事の内容
について

各老人クラブの活躍の様
子は、よく理解できまし
た。俳句、短歌など文芸作
品も上品で考えていること
が手に取るようにわかりま
した。

問題は、この新聞が会員
のものであることを一度考
えてみることも、この際必
要であるように思います。

新聞記事に連載を望む事
項を列挙すると
○会議進行に関する方法の
具体化

―司会者の役割と運営方
法について

○医療の問題の取り扱いに
ついて

○栄養摂取、バランスの良
い食事の方法

○相続の問題、無駄のない
節税の仕方

○介護関係の施設の利用方
法

など会員のために資料を提
供していただきたいと望む
わけです。

そのほか、医師を囲んで
の座談会形式の記事、会員
の有志による老人活動の会
などいろいろな記事を載せ
るのも、老人クラブのより
良い進展につながると思い
ますが、いかがでしょうか。

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

会員文芸

俳句

■岩田校区

平岡区老人クラブ若竹会

千枚田黄金に映えて彼岸花

白井 善晴

■岩田校区 東岩田長寿会

秋まつり手筒火花をしかと抱き

片桐 幸枝

稲孫田にすずめ群る日ぐれかな

加藤カツエ

■八町校区 旭第一寿会

夏も過ぎ夕方近く赤トンボ

中村 恒道

■豊校区 西岩田親睦クラブ

火を入れぬ火鉢今年も飾り置く

金田 英子

■豊校区 三ノ輪本町本寿会

秋うらら信玄塚の一本松

磯部 馨

■野依校区 楽友会

日除けてゴーヤの日差し黄色冴え

斉藤いつ子

砂浜や燃ゆるが如くカゲロウが

斉藤 勇

カゲロウの炎の焰の先に電車かな

高松多鶴子

ホバリング静けさそよぐアカネかな

夏目ヤツ子

河鹿には玉を転がす術がある

前平 つよ

秋風やもみじの錦運び来る

飯嶋 重明

秋風や心浮き浮きもみじかな

飯嶋由貴江

■富士見校区

ニユーレイク第一クラブ

庭先や老いし夫婦に金もくせい

早川 郁代

■大清水校区

大清水老人クラブ虹の会

「萩の寺」

甚五郎の竜に睨まる萩の寺

水野 せつ

■杉山校区 みその俳句会

秋冷えや静かなる里母の住む

花井 稔

朝冷えの心身はずむ散歩かな

市川 淑洋

静けさや峯の麓の紅葉映ゆ

田中 秀幸

秋冷えや佛にすごること多し

彦田 純子

菊日和娘嫁がす父無言

竹内 澄子

遠き日の妣のやさしき衣被ぎ

井土 幸子

■谷川校区 中原町立岩会

蔓引けば遠くに揺れるからす瓜

朝倉 政敏

渋柿や大正生まれの父のごと

池田すみ江

笹鳴きや類は友呼び賑はひぬ

石田 保雄

秋茄子のまだ次々に花咲きし

稲葉 春夫

残されし美人案山子の疲れ顔

川合 幸子

名利や色即是空彼岸花

堤 昭雄

■松山校区 前田南町第一長寿会

「残る虫」

城跡の松の梢や残る虫

森田 光子

■松山校区 東松山町睦クラブ

栗飯や土釜に偲ぶ母の味

荒井須磨子

■小沢校区 第二寿会

熱燗や無口の老も饒舌に

朝倉 清

祝米寿ボインセチャが色をそえ

朝倉 光夫

春の春に梅の一枝日差伸ぶ

本馬 孝子

■小沢校区 第三寿会

馥郁と垣根越え来し早梅の香

幾田 哲夫

■老津校区 老津俳句会

時雨去り茜の空や鳥の列

彦坂 博子

槇の垣中の一点石路の花

彦坂 たか

バス旅行時雨の中の日本海

松井悦次郎

窓の先湖面に広がる牡蠣いかだ

彦坂せつ子

急ぎ来て時雨るる駅に待ちぼうけ

石田 初江

喘ぎつつ越えねばならぬ時雨みち

彦坂 和子

小春日や憩ふ二人の大欠伸

中村きよ子

一ぶくに青みかん挽ぐ畑仕事

三浦 松代

朝時雨濃いめの紅茶香り立つ

別所 善子

挨拶の声弾けたる小春かな

西崎 紘子

うた、寝の小春日和に今日も暮れ

鈴木 純夫

短歌

■豊校区 西岩田親睦クラブ

若き等についてぞろめく遼君の

ギャラリーなれば腰痛忘る

金田 英子

■牟呂・汐田校区 坂津松寿会

ご来光この世の様と思われず

神々しさに涙こぼるる

横田 久枝

■牛川校区 若宮町ことぶき会

訪ねたる師の頬笑に侘し心

温り増して至福を感じず

豊田 しげ

■東田校区

東雲町老人クラブ和友会

誕生日年はいらぬと思えども

祝ってくれる娘うれしや

松田 陽子

■老津校区 老津喜楽会短歌教室

コスモスの伸びゆきつばみふくらむを

日々たのしみて雑草を取る

石田 初江

白露です虫の鳴き声聞きながら

歩いています香しい秋

鈴木きみゑ

衣かつぎきんびらごぼう皆好きよ

思い描いて手入に励む

鈴木 元恵

浮かれ犬芒の道をまっしぐら

主より確かな足取り今日も

伴 夏枝

汗流し湯舟に入りさわやかに

明日への努力家族と共に

彦坂 貞子

コーヒーと友との語りい生甲斐よ

お店を出れば愚痴も忘れて

伴 幸子

傾きてなおたちつくす案山子あり

回りはひこばえ風が一筋

伴 匡晃

コーヒーを一口飲みてしみじみと

今の幸せ友とかたれし

原田 玲子

遅咲きの真赤に咲いた彼岸花

逝きし夫との散歩道辿る

柵木 早苗

一面に萩のこぼるる草の上

秋は静かに暮れ初めにけり

三浦 松代

■松山校区 前田南町第二長寿会

「秋」

雲染めて朝日の昇る秋の空

ドンと響けり祭の花火

寺部 順子

■松山校区 東松山町睦クラブ

「夕影の街」

丘の園見渡す街の眺望の

夕影が好きで今日も佇む

河合 實

■幸校区 南松原寿会

十三夜わたし好きよと言ひし女

僕も好きだと横顔見てた

金子 浩吉

開国の一砲鳴らしし寝姿山

穂し下田に今黒船の浮く

大橋 睦子

在りし日のはたらく母のすがたこそ

今も脳裏に堅田の風情

菅谷 益夫

■大崎校区 大崎第一クラブ

眠られぬ夜の良き友にラジオあれば

古き歌など聞きて慰む

山本 絹代

■大崎校区 大崎第二クラブ

週一度帰宅の孫を待つ家族

揃いし夕餉の話のはずむ

田中さな江

■大崎校区 大崎第三クラブ

幼き日兎を追いはあゝの山と

姉と語りつつ渥美路廻る

近藤美代子

穏やかに今を生きつつ移りゆく

季節の花を楽しみて居り

高田よ志子

■小沢校区 第二寿会

葉を落し春を待ちつつ白木連

白いうぶげの綿帽子つけ

本馬 孝子

川柳

■岩田校区

平岡区老人クラブ若竹会

甘藷を食み足湯男女が相和して

白井 善晴

■幸校区 牧野町長寿会

旅を兼ねグランドゴルフ待かねる

本多 和美

■栄校区

北山町老人クラブ若葉会

観光地観るより先にトイレかな

伊藤ツヤ子

■杉山校区 杉山川柳会

サバイバルめそめそしては生きられぬ

めそめそとした子に今は励まされ

竹内 澄子

せがむ子のめそめそ顔に母の負け

市川 淑洋

雨男と旅に出掛ける雨おんな

彦田 純子

雨降って相合傘になる二人

田中 秀幸

雨降ってよろこ花と愚痴る人

花井 稔

■東田校区

仁連木・東郷寿会川柳クラブ

「夢・希望」

又とない喜楽な人生老いの夢

夢に見た希望に燃えるご来光

板橋 章一

大いなる希望描きて春を待つ

希望など縁遠くなる歳となり

宝くじ夢を抱きつつ買い求め

若返り夢にせつせとサブリ欽む

年重ね夢が遠のく無念坂

夢でいい一度逢いたいだんな様

元氣にと希望を持って病院へ

神無月神々留守にえびす講

鈴木いと子

後藤マサ子

榎島 謙一

佐原 久代

寫 鈴枝

鈴木いと子





親睦旅行：吉良温泉にてカラオケを楽しむ



敬老会：町内会主催の敬老会にみんなで出席

◎主な活動内容

神明みどり会で最も人気のある行事が、親睦旅行です。年に数回、さまざまな所へ日帰り旅行に出かけています。これまでに、浜名湖やくらがり溪谷、吉良温泉等に行き、カラオケを楽しんだりするなど、会員同

◎今後に向けて

神明みどり会では、ここ数年会員数に大きな変動はありませんが、全国的に老人クラブの会員数が減少しており、寺田会長もそのことに危機感を抱いていま

す。神明みどり会でも、70代後半の会員が多く、なかなか60代の人は入会しないそうです。「入会の勧誘もしているが、自発的に入ってくれるのが一番良い。そのために、総会時の講演会が好評だったように、人が集まる行事、みんなが参加したくなる行事を企画して、クラブの魅力をアピールしていきたい」と寺田会長は語ります。

現在検討中なのは、防犯教室や誕生会、親睦会等で、「少しでも多くの人が楽しめるようゲーム等を取り入れ、景品をつけたりしたい。実際に、グラウンド・ゴルフ等でも徐々に参加者が減ってきているので、役員が積極的に参加することで盛り上げたい」と、さまざまなアイデアを役員の皆さんで検討中です。

《インタビュー》 単位クラブ紹介

新川校区・神明みどり会に
お邪魔しました！

インタビュアー／(株)博報社

士の交流を深めています。また、一番多くの会員が集まる総会では、昨年、総会後に医師を招いて講演会を行い、会員から「とても役に立った」という声が多く聞かれました。

それ以外にも、年2回の清掃活動や、週2回のグラウンド・ゴルフ、さらには、町内会主催の敬老会にも多くの会員が出席。また、会員の有志が小学生の登下校の見守りをするなど、地域に根ざした活動を展開しています。

か60代の人は入会しないそうです。「入会の勧誘もしているが、自発的に入ってくれるのが一番良い。そのために、総会時の講演会が好評だったように、人が集まる行事、みんなが参加したくなる行事を企画して、クラブの魅力をアピールしていきたい」と寺田会長は語ります。

現在検討中なのは、防犯教室や誕生会、親睦会等で、「少しでも多くの人が楽しめるようゲーム等を取り入れ、景品をつけたりしたい。実際に、グラウンド・ゴルフ等でも徐々に参加者が減ってきているので、役員が積極的に参加することで盛り上げたい」と、さまざまなアイデアを役員の皆さんで検討中です。

編集後記

吉田春秋をお届けします。今号もたくさんのご投稿をいただき、ありがとうございます。広報文化部では、皆さま方のご意見・

原稿募集

◎校区活動、単位クラブ活動、俳句、短歌、川柳、随想、写真やイラストなどの投稿を募集します。
◎原稿用紙600字。俳句・短歌・川柳については各1点ずつ、写真はきれいなものをお願いします。
◎必ず、校区名・単位クラブ

投稿などをお待ちしております。

今後もし読みやすく楽しい紙面づくりに努力してまいりますので、よろしくご支援をお願い申し上げます。
豊橋市老連 広報文化部

ブ名・氏名を明記してください。

◎紙面の都合上、やむなくカットしたり、掲載を見送る場合があります。

◎締め切り／5月末日

◎投稿先／豊橋市老人クラブ連合会事務局
(豊橋市今橋町1番地・豊橋市役所長寿介護課内)

☎51・2337

趣味の教室発表会 のお知らせ

日 程	ブロック	日 程	ブロック
2月23日(土)	大清水	3月14日(木)	下地
3月 3 日(日)	つつじが丘	3月16日(土)	大岩
3月 8 日(金)	牟呂	3月16日(土)	石巻
3月12日(火)	仁連木	3月28日(木)	八町
3月14日(木)	高師		

※つつじが丘・牟呂・大清水・八町は地域福祉センター
それ以外は老人福祉センターで行われます。

ご協賛各位へのお礼

この度「吉田春秋」の発刊にあたりまして、広告掲載のご協力を賜り誠にありがとうございました。
本紙は、会員が生きがい・健康・教養を高めながら交流の輪が広がるよう願って刊行いたしております。
今後とも何とぞ末長きご厚誼、ご支援をお願いいたします。
豊橋市老人クラブ連合会

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています